



千葉県PR
マスコットキャラクター
チーバくん

千葉県

都市づくりビジョン 概要版

令和5年6月
千葉県

千葉県都市づくりビジョン概要

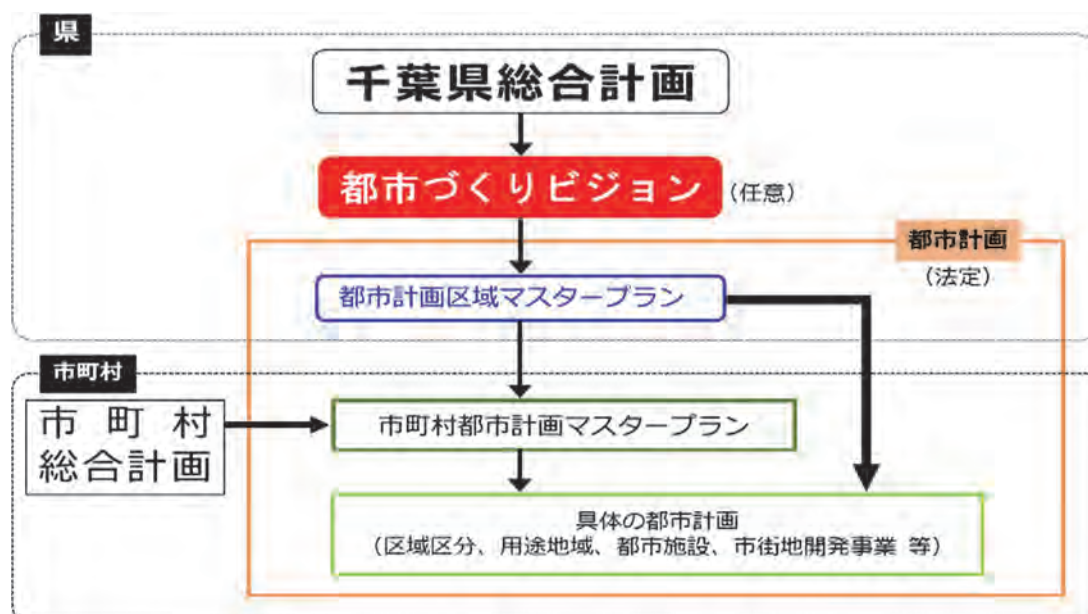
I. 都市づくりビジョン策定の基本的な考え方

1. 都市づくりビジョン策定の目的と位置づけ

- ・千葉県では令和7年度を目途に「都市計画区域マスタープラン」の見直しを進めています。
- ・本ビジョンは、都市計画区域マスタープランの見直しに向けて、広域自治体として、概ね30年先を見据え、現行の都市計画区域の枠にとどまらず県土全体を対象とし、広域的な視点から本県の将来の「都市の姿」を描き、県民の暮らしや仕事、産業等の基盤となる都市づくりの方向性や方針を示すことを目的としています。
- ・本ビジョンは、「千葉県総合計画」と「都市計画区域マスタープラン」をつなぐ任意の計画として位置づけ、都市計画区域マスタープランの見直し等においても活用していきます。

2. 都市づくりビジョン策定の背景と必要性

- ・県民の生活圈や経済圏の拡大、広域道路ネットワーク整備の進展、また、都市計画区域が概ね市町村ごとに指定されていることなどから、隣接する市町村間で都市計画道路や土地利用の調整が必要となっています。これらの背景からも広域的な視点が重要になっており、市町村の行政区域の枠を越えた広域的な視点での都市づくりが求められています。
- ・広域自治体である県として、長期的かつ広域的な視点に立った政策や市町村間の調整を担うとともに、本県の都市づくりがより良い方向へ進むよう、県・市町村・県民などが一体となって共有すべき都市づくりの方向性を示すことが必要となっています。



Ⅱ. 目指すべき「都市の姿」

3. 都市づくりの課題の整理

今後の都市づくりを行う上で押さえておくべき社会経済情勢の変化

人口減少 少子高齢化	地球温暖化 自然災害の 激甚化・頻発化	生活様式の 多様化	新たな産業用地の確保 (成田空港の更なる 機能強化)	脱炭素・循環型 社 会	ICT技術の 進 展
---------------	---------------------------	--------------	----------------------------------	----------------	---------------

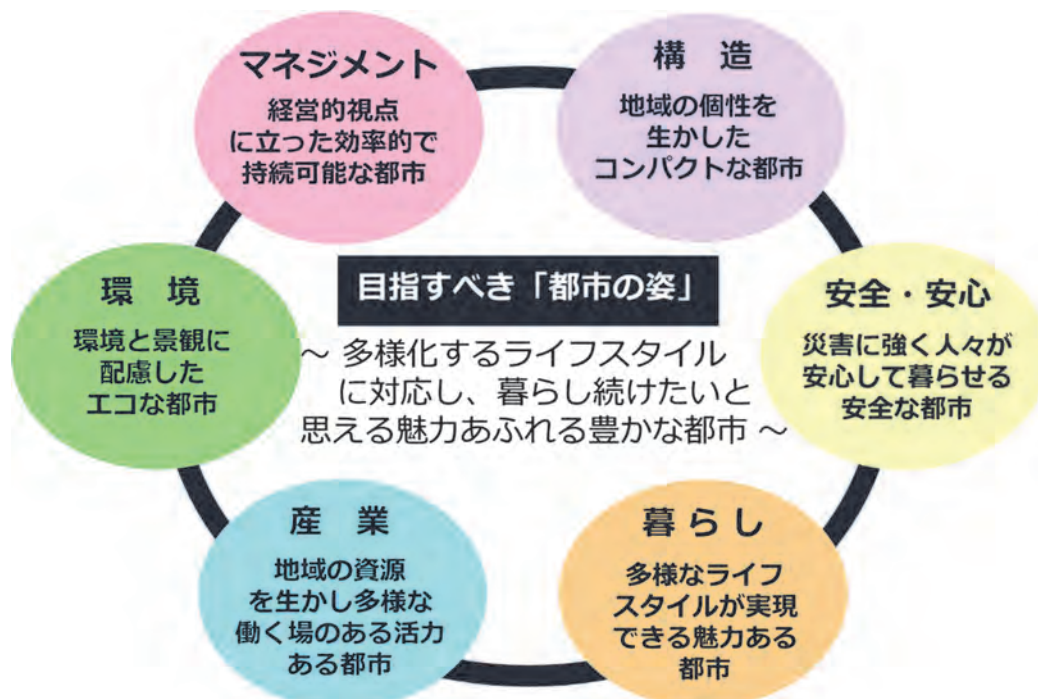
【6つの視点で課題を整理】

県民の生活、都市の構造及び経営に着目し、6つの視点から課題を整理することになります。

視 点	課 題
■ 構 造	人口減少高齢化の進行による都市・集落機能の低下及びスプロール化
■ 安全・安心	自然災害の激甚化・頻発化への対応、防犯・交通安全への対応
■ 暮 ら し	新型コロナウイルス感染症を契機とした働き方や暮らし方の変化への対応
■ 産 業	新たな産業用地の確保と産業のイノベーション
■ 環 境	脱炭素、循環型社会の実現、緑の保全・創出、グリーンインフラの活用
■ マネジメント	効率的なインフラの維持管理、デジタル技術の活用

4. 千葉県の目指すべき「都市の姿」

～多様化するライフスタイルに対応し、
暮らし続けたいと思える魅力あふれる豊かな都市～



5. 都市づくりの目標と方向性（6つの目標と10の方向性）

■ 構造【目標】地域の個性を生かしたコンパクトな都市

方向性 01 多様な拠点を持つコンパクトな都市づくり

- 地域に必要な居住や都市機能の誘導によるコンパクトな都市づくり
- 多様な都市機能が集約した広域的な拠点や地域の中心となる拠点づくり
- 日々の暮らしを支える生活サービス機能のある身近な生活拠点づくり
- 農山漁村における生活サービス機能が確保された小さな拠点づくり

方向性 02 拠点をつなぐネットワークづくり

- 広域的な拠点を結ぶ道路ネットワークづくり
- 拠点どうしを結ぶ交通ネットワークづくり
- ウォーカブルなまちなかの歩道や自転車道のネットワークづくり



■ 安全・安心【目標】災害に強く人々が安心して暮らせる安全な都市

方向性 03 地震・風水害など災害に強い安全な都市づくり

- 地震災害に強い都市づくり
- 風水害に強い都市づくり
- 誰もが安心して暮らせる都市づくり



■ 暮らし【目標】多様なライフスタイルが実現できる魅力ある都市

方向性 04 多様なライフスタイルが実現でき人にやさしい都市づくり

- 多様なライフスタイルの実現ができ Well-Being を実感できる都市づくり
- 安心して子育てができる環境づくり
- 健康で元気に暮らせる都市づくり

方向性 05 空き家や空き施設を再生し賑わいのある都市づくり

- 賑わいのある中心市街地や多世代が暮らし続けられる住宅団地の再生
- 空き家・空き地・未利用公共施設などを活用した地域の活性化



■ 産 業【目標】地域の資源を生かし多様な働く場のある活力ある都市

方向性 06 多様な産業が成長する都市づくり

- 成田空港や高速道路インターチェンジ等を生かした産業の受け皿づくり
- 産業のイノベーションに対応する都市づくり
- 地域の歴史や景観を生かした魅力ある観光地づくり
- 農林水産業と共生する都市づくり



■ 環 境【目標】環境と景観に配慮したエコな都市

方向性 07 カーボンニュートラルに取り組む都市づくり

- 環境と調和のとれた持続可能で魅力のある都市づくり

方向性 08 身近な緑や景観を守り育む都市づくり

- 住民の愛着と誇りが生まれる景観都市づくり
- 身近に緑があふれる都市づくり
- 里山・里海を守る都市づくり



■ マネジメント【目標】経営的視点に立った効率的で持続可能な都市

方向性 09 都市経営の視点に立った官民連携による持続可能な都市づくり

- 都市機能の集約やインフラの広域化・共同化による効率的な都市づくり
- 官民連携による財源を創出する都市づくり

方向性 10 ICT 等の新技術を生かした豊かで便利なスマートな都市づくり

- ICT 等を活用した豊かで便利な暮らしの実現
- Society5.0 時代におけるスマートシティの促進



Ⅲ. ビジョンを実現するための視点と取組

6. 広域な都市づくりの視点

本県が持つ地域資源を最大限活用し、市町村の枠を越え、県と市町村、市町村と市町村が連携した広域的な視点に立った千葉県らしい個性のある都市づくりを進めていきます。

(1) 成田空港等の国際拠点を生かした拠点の形成

- 都市機能の集約や成田空港、千葉港などの国際的な拠点としてのポテンシャルの向上を本県経済の活性化につなげていくため、広域的視点に立った拠点の形成。
- 国内外からの人・モノ・財の流れを作り、県全体への波及を促進。

(2) 広域道路ネットワーク等の構築

- 各エリアを結ぶ広域道路ネットワークの整備。
- 災害発生時の部分的な被害が全体の機能不全にならないようリダンダンシーへの配慮。

(3) 広域道路ネットワークを生かしたインターチェンジ周辺等の産業の受け皿づくり

- 本県の更なる発展と地域振興を図るため、地域の特性に応じた産業集積のための受け皿づくり。
- 地元市町村や企業立地部局等と連携・協力し、産業集積のための受け皿を確保。

(4) 流域治水等の広域的な防災・減災対策

- 複数の市町村にまたがる流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の推進。
- グリーンインフラとしての機能を有する緑地や谷津の保全・活用など、防災・減災対策の推進。

(5) カーボンニュートラルな都市づくり

- コンパクトな都市づくりの推進や資源・エネルギーの消費量の削減を進め、地球温暖化の緩和。
- 再生可能エネルギー等の導入、熱エネルギー等の高度利用など、地域特性に応じた環境にやさしいカーボンニュートラルな都市づくり。

(6) 広域的な視点に立った土地利用

- 市街地の中核となる広域的な拠点には、多種多様な都市機能を集約させ、その魅力の増進が重要。
- 大規模な集客施設や物流施設などの開発は、広域的な視点に立った市町村間の土地利用調整が必要。

(7) 公共施設等の広域化・共同化と効率的な都市経営

- 持続的に行政サービスを提供するため、複数市町村の連携や都市機能の分担・広域連携が必要。
- 市街地のスプロール化の抑制やコンパクト化への変革による都市経営コストの効率化。

7. 今後の都市づくりを支える取組

本ビジョンに掲げた目指すべき「都市の姿」を具現化していくために、以下の具体的な取組を進めていきます。

(1) 広域的な視点に立ったマスタープランの策定

- 複数の市町村を圏域とする広域的な視点に立ったマスタープランの策定。

(2) DXを活用した都市づくりの見える化と情報発信

- 3D都市モデル等を用いた都市づくりの「見える化」を推進。
- 都市の「見える化」なども取り入れながら、住民参加型の都市づくり活動を推進。

(3) 産業・環境・健康福祉・防災分野等との施策の連携

- 人口減少・高齢化、頻発・激甚化する自然災害など、都市づくりの課題解決には、多様な分野の視点で検討することが重要。
- 関係する産業等の施策との連携を図るなど、多角的な知見・見識を取り入れながら、都市の課題に対応する施策を検討。

(4) ICT・AI等の新技術の導入・社会実験の推進

- 新技術の社会実験の促進と情報の発信を進め、地域における生活利便性の格差を解消。
- 経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会である Society5.0 の実現。

(5) 産・官・学・民の連携と民間活力の導入

- 「産・官・学・民」連携やエリアマネジメントなどを促進するための連携の場・組織づくりを推進し、地域と多様に関わる人々を増やすことが必要。
- 民間による着実な経営等による魅力的なデザイン、Park-PFI 事業などを積極的に生かした都市づくりの推進。

(6) 県民参加や子どもたちの都市づくりを学ぶ機会・場の提供

- 各地域における今後の都市づくりを考える機会の提供と県民参加の促進。
- 「都市づくりを学ぶ場」の提供等による、子どもたちの都市づくりに対する関心を高める取組の支援。

(7) 広域的連携を行う場づくりと市町村の都市づくり支援の推進

- 広域的な視点に立った都市づくりの実現には、これまで以上に県・市町村の連携が不可欠。
- 県内における都市づくりに関する課題や問題について研究する場や広域的な視点に立ったマスタープランを検討する場を設けるなど、広域的な連携の推進。
- 市町村が抱えている都市づくりの課題に対する技術的なアドバイス。

